

原作及脚色者 帝キ木 芦屋映畫
監督者 丘 虹二氏
撮影者 松本 英一氏
大森 勝氏

——主要配役——

盲目の青年中島雪夫 松本 泰輔氏
田舎の少女お君 歌川 八重子嬢
その伯父重平 横山 隆吉氏
藝妓叶家の勝二 尾崎 しつ子嬢
其の旦那黒田 小島 洋々氏
妹藝妓 玉置 みち子嬢
別荘番 濱 田 格氏

(略筋。田舎娘お君は或日激流に投身しやうとする盲目の貧窮家を助けた。亡父の遺した二千圓を以て彼女を彼を都の病院へ入らしめ年経た後遂に暗黒の世界から彼を救つた。ふさした機會で富める黒田に助けられ彼は専心自己の天分を發揮する事となつた。其中に黒田の寵愛を受ける藝妓勝二は質朴な畫家を戀する様になつたが黒田の寛大な心を以て勝二の願ひは許されたのである。田舎のお君は畫家を慕つて上京したが世なれぬ彼女は何事も己が心の中を語り得なかつた。かくて畫家と勝二とお君とは悲しい戀の三角關係に落ちたが、憐れにもお君は自ら雙眼の明を絶つてまだ見ぬ暗黒の國に住む身となつた。勝二も亦お君の情を察して畫家を去らねばならなかつた。浮世の義理から心破れた人々が寂しい世の姿をみつめて居る。)

批評省略 (二月十二日 神戸二葉館)